

2025 年 8 月 29 日

各 位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社



栗田工業株式会社が発行するブルーボンドの引き受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、栗田工業株式会社(以下 同社)が発行するブルーボンド(5 年債 100 億円、以下 本社債)の引き受けにおいて事務主幹事およびストラクチャリング・エージェント⁽¹⁾を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

ブルーボンドとは、環境問題の解決を目指すグリーンプロジェクトの資金調達のために発行するグリーンボンドの一種であり、特に本社債は調達資金を IFC⁽²⁾の「ブルーファイナンスガイドライン」における「水衛生(water sanitation)」に適合するプロジェクトである「半導体向け超純水供給事業に係る設備投資」に充当される予定です。

同社はブルーボンドの発行にあたり、2025 年 8 月 8 日、半導体向け超純水供給事業に係る設備投資を資金使途とした「ブルーファイナンス・フレームワーク」(以下 本フレームワーク)を策定しました。本フレームワークは、独立した外部機関である株式会社日本格付研究所(JCR)から、IFC が定める「ブルーファイナンスガイドライン」及び ICMA⁽³⁾が定める「グリーンボンド原則」等との適合性に関する第三者意見書を取得しており、最上位評価である「Blue 1 (F)」を取得しています。

同社は、サステナビリティを、自然環境や社会システムの中に企業活動を位置付けそれらとの相互影響を踏まえて持続的な成長を図ることであると捉え、サステナビリティを経営の中核に据えて取り組んでいます。また、「持続可能な社会の実現に貢献する『水の新たな価値』の開拓者」を企業ビジョンに掲げています。この実現に向けた重要課題を、サステナビリティに関するグローバルな課題を踏まえ中期経営計画ごとに特定し、「クリタグループのマテリアリティ」として定めたうえで、指標・目標を設定してこれに取り組んでいます。

2006 年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして資金使途を限定しないサステナビリティ・リンク・ボンドなどの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引き受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	栗田工業株式会社第3回無担保社債 (特定社債間限定同順位特約)(ブルーボンド)
発行年限	5年
発行額	100億円
利率	1.466%
発行日	2025年9月4日(木)
償還日	2030年9月4日(水)
資金使途	半導体向け超純水事業に係る設備投資
取得格付	A+(株式会社格付投資情報センター)
主幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 野村証券株式会社 大和証券株式会社
ストラクチャリング・ エージェント	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

- (1) フレームワークの策定及びセカンド・パーティ・オピニオンの取得に関する助言等を通じて、ブルーファイナンス等の実行支援を行うもの
- (2) IFC:国際金融公社
- (3) ICMA:国際資本市場協会

※SDGs 債ロゴについて:SDGs 債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs 債とは、調達資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券や、SDGs の実現に貢献する KPI 設定/SPTs 達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上